

第9次中期経営計画

2026－2028

みやぎ仙南農業協同組合

第9次中期経営計画策定にあたって

農業やＪＡを取り巻く環境は、人口減少・高齢化の進行により農業経営体数及び経営耕地面積が減少傾向にあり、加えて、農業資材の価格高騰や生産コストの上昇により農畜産物の価格変動など、依然として厳しい状況下にあり、農業経営やＪＡ経営に対する大きな課題となっています。

このような情勢下、ＪＡみやぎ仙南では第8次中期経営計画において、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を通じた基本理念の実現に向けて挑戦し続ける『ビジョン2025』を掲げ、「農業振興プラン」「地域活性化プラン」「経営強化プラン」「組織強化プラン」の4つのプランに取り組んでまいりました。

令和6年12月に開催された第41回ＪＡ宮城県大会では、「仲間と築く協同の力～戦略実践と好循環が生み出す価値～」をテーマに、5つの戦略（食料・農業、くらし・地域活性化、組織基盤強化、経営基盤強化、広報）について決議され、これらに取り組むことを確認しました。

令和8年度を初年度とする第9次中期経営計画では、ＪＡみやぎ仙南の使命・基本理念を再確認するとともに、「持続可能な農業経営をトータルサポートするＪＡみやぎ仙南」「各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにするＪＡみやぎ仙南」「健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長するＪＡみやぎ仙南」の3つのビジョンを掲げ、経営目標・重点方針・経営戦略を策定いたしました。

組合員・利用者から信頼される組織・事業運営に努めるとともに、地域に必要とされるＪＡみやぎ仙南を目指してまいります。

J A みやぎ仙南の使命・基本理念・経営ビジョン

－ 使命 －

J A みやぎ仙南は、農業者等の組合員により自主的に設立された相互扶助組織であり、組合員の営農と生活を守り高め、よりよい地域社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

組合員の農業生産及び生活活動を協同して行うことで、経済的・文化的な利益を得るための事業を展開します。

－ 基本理念 －

「食」と「農」を未来へつなぎ、豊かなくらしと心を育み、夢と笑顔の溢れる地域づくりに貢献します。

－ 経営ビジョン －

- I. 持続可能な農業経営をトータルサポートする J A みやぎ仙南
- II. 各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにする J A みやぎ仙南
- III. 健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長する J A みやぎ仙南

3つの経営ビジョンと取組内容

I. 持続可能な農業経営をトータルサポートする JAみやぎ仙南

持続可能な農業経営をトータルサポートするため、次のことに取り組みます。

- 地域の特性を活かした地区営農ビジョンの策定・実践を通じ、持続可能な農業・地域共生の未来づくりを進めます。
- 担い手ニーズが多様化高度化する中で、農業法人をはじめとする担い手経営体への訪問活動によりニーズへの対応強化を図ります。
- 水稻直播栽培の普及、バラ集荷・調整作業の支援、子牛の適正出荷促進、担い手直送大型規格農薬の普及、低コスト農機等の普及を通じて、省力化・コスト低減を提案します。
- 農業経営の安定化に向けた複数年買取契約や耐暑性品種導入、優良肥育素牛の導入と育成を通じた有利販売を進めます。
- めぐみ野商品への理解醸成を図り産消提携活動の推進を行います。
- 担い手経営体のニーズに応じた農業融資相談機能の発揮を図ります。

II. 各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにする JAみやぎ仙南

各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにするため、次のことに取り組みます。

- くらしを基軸とした活動による相談・提案活動やデジタル活用により、世代を問わず組合員・利用者のニーズに応えます。
- ライフプランや多様な資産ニーズに即した金融商品を提案します。
- 3Q活動により、ライフスタイルに合わせたひと・いえ・くるま・農業の総合保障、複数共済商品の提案活動を実践します。
- 葬祭事業のサービス力を強化し、管内シェア向上を図ります。
- 利用者の満足度を高める質の高い介護サービスを提案します。
- 車のトータルサポート充実を図り、安全安心カーライフを提供します。

3つの経営ビジョンと取組内容

Ⅲ. 健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長するＪＡみやぎ仙南

健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長するため、次のことに取り組みます。

- 組合員ニーズへの対応力強化に向け、総合事業として相続相談業務体制を構築します。
- 組合員・利用者から信頼される組織・業務運営の確立に向け、内部統制の構築・運用と、更なるコンプライアンス態勢強化に取り組みます。
- 人材育成人づくり基本方針に基づき、ＪＡ事業運営・協同組合運動を支える人材の確保・育成を図ります。
- 組合員の意思反映と対話運動に取り組むとともに、支店協同活動や各種イベントを通じて関係づくりに取り組み、組織基盤の強化を図ります。
- ＪＡみやぎ仙南の広報戦略を策定して、戦略的な情報発信に取り組み、農業とＪＡの理解醸成を図ります。

I. 持続可能な農業経営をトータルサポートするJAみやぎ仙南

経営目標

地区営農ビジョンの策定と実践による地域農業の振興

重点方針

経営戦略

取り組み目標を設定した地区営農ビジョンの策定・実践

●持続可能な農業・地域共生の未来づくりを目的に、仙南管内の行政が策定した地域計画や農業振興計画等の内容について考察し、地域に根ざしたJA独自の計画を策定する。

経営目標

担い手ニーズへの対応強化

重点方針

経営戦略

担い手への訪問活動によるニーズの把握及び対応の強化

●農業法人をはじめとする担い手経営体を対象に、定期的な訪問活動により担い手ニーズを把握、JA内部で情報共有し、担い手へのフィードバック（提案）へと繋げる。

経営目標

水稻栽培の省力・低コスト生産の普及拡大

重点方針

経営戦略

水稻直播（乾田、湛水）栽培の普及拡大

●農業法人をはじめとする水稻担い手経営体をリストアップし、展示圃等の設置や研修会を開催し普及拡大を図る。

経営目標

実需者と結びついた契約栽培による農業経営の安定化

重点方針

経営戦略

複数年買取契約及び耐暑性品種導入による契約数量の拡大

●農業法人をはじめとする水稻担い手経営体をリストアップし、経営に即した買取品種の提案を行い拡大を図る。

経営目標

地区営農ビジョンに基づく園芸の生産維持拡大

重点方針

経営戦略

地区営農ビジョンの園芸部門の実践

●各市町との連携により品目別に対象者を選定し、TAC課及び地区TACによる作付推進を図る。

経営目標

加工用業務用青果物の販売拡大

重点方針

経営戦略

JAグループ（全農）サプライチェーンの構築によるバラ集荷・調整作業の支援

●農業法人及び圃場基盤整備を計画している組織に、収穫機械等のリースにより取り組み支援を実施する。

I. 持続可能な農業経営をトータルサポートするJAみやぎ仙南

経営目標

仙南の仙台牛ブランドの確立による有利販売

重点方針

経営戦略

生産性に優れた優良肥育素牛の導入と育成の強化

●各生産者の仙台牛格付率をリストアップし、関係機関と連携して巡回指導を実施する。

経営目標

子牛の適正出荷促進による生産コストの低減

重点方針

経営戦略

担い手を中心に生産技術向上と意識改革の強化

●各生産者の平均出荷日令をリストアップし、関係機関と連携して生産指導を実践する。

経営目標

めぐみ野の取り組み拡充による産消提携活動の推進

重点方針

経営戦略

めぐみ野産消提携品の取扱い数量・品目の拡大

●みやぎ生協メンバーとの交流会、学習会、販促活動を通じてめぐみ野商品の理解醸成を図る。

経営目標

生産トータルコスト低減による農業所得の増大

重点方針

経営戦略

担い手直送大型規格農薬の普及拡大

●春資材予約注文書への掲載品目の充実と、ターゲットリスト（訪問先）に基づいた担い手や農業法人への出向く体制を構築し、スケールメリットの情報提供による推進活動を実施する。

重点方針

経営戦略

農業機械費低減による生産コストの縮減

●農業機械のメンテナンスを実施するため、農業法人をはじめ、担い手経営体をリストアップし、アフターフォローを実施する。

重点方針

経営戦略

省力低コスト農機等の提案による生産コストの削減

●コスト削減（省力化・労力軽減）に向けた情報収集と検証を行い、低コスト農機等の普及推進を実施する。

経営目標

農業に根ざした担い手訪問活動による農業融資相談機能の発揮

重点方針

経営戦略

担い手経営体・個別ニーズに応じて資金の情報提供と相談機能の強化

●農業融資専任担当及びTAC担当者、支店担当者と情報共有しながら農業法人、各組織等へは代表者をターゲットとし、担い手先、新規就農先への情報提供を実践。
●管理者との同行を含め農業関連業者への定期的な訪問活動によるリレーション（関係性）の構築。

Ⅱ. 各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにする J A みやぎ仙南

経営目標	活動・事業を通じた組合員の豊かなくらしの実現	
重点方針	経営戦略	
組合員のくらしを基軸とした活動・事業の展開	●スマホ教室、資産形成セミナー等継続的な開催。	
重点方針	経営戦略	
金融イベントや資産形成・運用（新NISA等）の必要性を伝える活動の展開	●女性大学（親子体験型コース含む）や各組織団体が集まる場において金融商品のPR活動を展開する。 ●小学生を対象とした金融イベントの実施。	

経営目標	組合員と地域の多様化したニーズに応じたJAならではの金融サービスの提供	
重点方針	経営戦略	
組合員・利用者の目線に立ったサービスの提供と関係維持の強化	●お客様のライフプランや資産状況を踏まえ多様な資産運用ニーズに対し、お客様のニーズに合わせた適切な提案・相談対応を強化する。	

経営目標	現役世代の新規獲得を含む顧客基盤の獲得強化	
重点方針	経営戦略	
管内人口減少、高齢化による利用者数減少による純新規利用者の囲い込み強化	●次世代・次々世代層への効果的なアプローチを行い、粘着性の高い貯金の獲得（年金・給振等の付帯取引）。	

経営目標	つながり強化に向けて非対面サービス、対面サービスを融合した利用者接点の構築	
重点方針	経営戦略	
利用者のニーズに即した金融商品の提供	●純新規利用者の獲得強化、既存顧客層の流出防止を基本戦略として、金融商品提案の徹底を図り、JAバンクアプリ、アプリプラスを活用した顧客利便性強化、新規口座開設、ローン相談時にかかるセット推進強化する。	

経営目標	個別リスクに対する保障の充実	
重点方針	経営戦略	
農業経営リスクに対する適切な保障とサービス提供活動の普及拡大 （農業者賠償責任共済・J A 共済労働災害保険制度「業務災害補償保険」）	●営農部門と連携し、農業法人等へ「農業リスク」にかかる情報提供・農業保障の案内・研修会を開催する。 ●3 Q 活動を通じ、個人農業者へ「農業リスク診断活動」による保障点検活動を実施する。	

Ⅱ. 各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにする J A みやぎ仙南

経営目標 組合員・利用者・地域住民との関係強化	
重点方針	経営戦略
組合員・利用者・地域住民との3Q活動による接点確保	● 3Q訪問活動（対面）・3Qコール（非対面）による情報収集を基軸に、ライフスタイルにあわせた保障提供と共済商品を活用した相続相談活動を実施する。 ● 全世代層へ保障点検を通じ、お客様ニーズに照らした総合保障複数提案活動を実施する。
重点方針	経営戦略
次世代者層との接点づくりと子育て支援・地域貢献活動の実践	● JA学童軟式野球大会・アンパンマンショー・母子健康手帳ケース寄贈を通じ、子育て世代層へPR活動を実施する。

経営目標 デジタル技術活用による契約者に対する利便性向上と対応力の強化	
重点方針	経営戦略
JA共済Webマイページ等のアプリ、Webサービスを活用した接点拡充とサービスの提供	● 3Q活動を通じ、サービス機能の内容や利用メリット訴求による継続した提案活動を実施する。

経営目標 管内における葬儀施行サービスの満足度の向上	
重点方針	経営戦略
次世代新規やすらぎ会員獲得の強化	● web入会システムを構築し、新規会員獲得を図る。
重点方針	経営戦略
サービス力強化による他社との差別化	● 新プラン及び新サービスを提供し、多様化するニーズへの対応を強化する。 ※新プラン及び新サービスとは、「一日葬」「事前・事後相談（遺品整理）」「ペット葬」のこと。

経営目標 利用者の満足度を高める質の高い介護サービスの提供	
重点方針	経営戦略
業務効率化による質の向上	● 介護情報基盤ポータル（2028年4月本稼働）を活用した業務効率化により、質の高いサービスの提供を実施する。
重点方針	経営戦略
介護職員の育成と定着	● JA介護保険事業別ワーキンググループへの参加や、常勤ヘルパー自立支援研修等による介護職員育成及び定着を図る。

Ⅱ. 各世代の多様な組合員が協同し、地域を豊かにする J A みやぎ仙南

経営目標 地域住民が安心して暮らせる地域社会の実現	
重点方針	経営戦略
健康寿命を延ばすための健康増進、介護予防PRの実施	●各地区及び各組織と連携して、高齢者向け健康・介護予防教室を開催する。
重点方針	経営戦略
在宅生活が継続できる福祉用具の提案	●福祉用具の展示会等を開催し、福祉用具取扱事業所としての認知度の向上を図る。

経営目標 安全安心カーライフの提供	
重点方針	経営戦略
車のトータルサポートの充実	●定期的なチラシの配布、営業担当の訪問活動によるメンテナンスパックの推進活動を実施する。 ●車検及び一般整備入庫時の、季節商品を含めたプラスワン提案を実施する。

Ⅲ. 健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長する J A みやぎ仙南

経営目標 組合員ニーズへの対応による関係強化

重点方針	経営戦略
総合事業としての相続相談対応力の強化	●新体制構築に向けプロジェクトチームを設置し、部門横断型の相続相談業務体制を構築する。 ●各部門において、相続相談担当者を明確化する。 ●事前相談会、事後相談の内容充実及び専門研修受講により相続相談対応の強化を図る。 ●次世代担い手への事業承継支援に取り組む。

経営目標 持続可能な財務基盤の確立

重点方針	経営戦略
収支及び経営指標の管理	●経営シミュレーション作成により経営改善の早期対応に取り組む。 ●経営指標の測定による収支管理に取り組む。
重点方針	経営戦略
事業管理費の圧縮	●不稼働資産の活用・処分を進める。

経営目標 組合員・利用者から信頼される組織・業務運営の確立

重点方針	経営戦略
内部統制の構築・運用	●不祥事防止に向け更なるコンプライアンス態勢強化に取り組む。 ●内部統制システム基本方針に基づいた業務運営と運用状況の開示に取り組む。 ●各業務部門管理者のスキル向上、リスク管理部門の機能強化、内部監査の品質向上に取り組む（JA版3線モデルの実効性向上）。

経営目標 JA経営・協同組合運動を支える人材確保

重点方針	経営戦略
協同組合らしい人づくり	●人材育成ひとづくり基本方針に基づき、専門研修の受講と専門資格の取得に取り組む。 ●JA職員資格認証試験等を通じ、協同組合理念教育を計画的・継続的に取り組む。
重点方針	経営戦略
働きやすい・働きたいと感じる職場づくり	●職員意識調査の実施による職場環境の改善に取り組む。

Ⅲ. 健全な経営基盤を堅持し、長期的に成長する J A みやぎ仙南

経営目標 組織基盤の維持確保	
重点方針	経営戦略
組合員・地域住民との関係性強化	●組織基盤強化方針に基づき、組合員類型ごとの関係強化策と組合員加入促進に取り組む。 ●支店協同活動や各種イベントを通じて、組合員・地域住民との関係づくりに取り組むとともに、JA事業・活動の情報を発信する。
重点方針	経営戦略
組合員との対話・意思反映	●准組合員加入時アンケートにより、JA活動参画意識を把握する。 ●正組合員個別訪問や組合員組織意見交換会などの対話運動に取り組む。 ●組合員・利用者に対する事業評価調査（アセスメント）実施による事業への意見集約と反映に取り組む。

経営目標 農業・JAに対する理解醸成	
重点方針	経営戦略
広報戦略の策定と実践	●広報戦略を策定して、戦略的な情報発信を実践する。 ●訴求力のあるSNSの積極的な活用、トップ広報の積極的な実践に取り組む。

第 9 次中期経営計画

総合収支・主要事業取扱 3 か年計画

(令和 8 年度－令和 1 0 年度)

総合収支計画

【単位：千円】

	令和8年度(2026年) 計画1年目	令和9年度(2027年) 計画2年目 (目標値)	令和10年度(2028年) 計画3年目 (目標値)
信用事業総利益	940,000	962,730	970,950
共済事業総利益	801,000	786,000	771,000
購買事業総利益	613,000	619,250	643,950
販売事業総利益	350,838	339,155	343,155
保管事業総利益	31,534	41,750	41,750
加工事業総利益	102,000	120,180	141,080
利用事業総利益	47,571	53,295	54,295
介護事業総利益	65,000	65,000	65,000
指導事業収支差額	△77,123	△76,560	△76,660
事業総利益	2,873,820	2,910,800	2,954,520
事業管理費	2,844,000	2,848,000	2,863,000
事業利益	29,820	62,800	91,520
経常利益	63,080	74,000	100,000
特別損益	—	—	—
税引前当期利益	63,080	74,000	100,000
当期剰余金	47,080	54,000	70,000

主要事業取扱計画

【単位：千円】

		令和8年度(2026年) 計画1年目	令和9年度(2027年) 計画2年目（目標値）	令和10年度(2028年) 計画3年目（目標値）
		平均残高または取扱高		
貯	金	123,772,786	123,800,580	123,856,820
貸	出	42,358,201	42,379,380	42,400,560
預	金	62,884,347	63,858,180	63,911,530
借	入	10,750	10,750	10,750
有	価 証 券	10,335,231	10,322,000	10,321,000
購 買	生 産 資 材 (生活購買含む)	4,307,500	4,310,000	4,320,000
	農 業 機 械	425,000	424,000	423,000
	葬 祭	888,000	908,000	908,000
	自 動 車	116,890	111,090	111,090
	購 買 供 給 高 計	5,737,390	5,753,090	5,762,090
	修理・サービス料	135,600	133,910	134,910
	(農 機)	45,000	46,000	47,000
	(葬 祭)	32,000	32,000	32,000
	(自 動 車)	58,600	55,910	55,910
介	護	119,273	122,950	122,950
販 売	米 穀	4,321,749	4,350,000	4,370,000
	園 芸	1,350,000	1,350,000	1,350,000
	畜 産	4,154,416	4,100,000	4,200,000
	計	9,826,165	9,800,000	9,920,000

【単位：百万円】

		令和8年度(2026年) 計画1年目	令和9年度(2027年) 計画2年目（目標値）	令和10年度(2028年) 計画3年目（目標値）
		推進総合ポイントまたは長期保有高		
共 済	推進総合ポイント	10,700千ポイント	10,700千ポイント	10,700千ポイント
	内 訳	長 期 共 済	3,930千ポイント	3,930千ポイント
		短 期 共 済	6,770千ポイント	6,770千ポイント
	長 期 保 有 高	458,000	442,000	427,000

J A 綱 領

—わたしたちJAのめざすもの—

わたしたちJAの組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動します。そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織として社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. JAへの積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、JAを健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。



みやぎ仙南農業協同組合／本店（経営管理室）

宮城県柴田郡柴田町西船迫一丁目10-3

〔TEL〕 0224-55-1905 〔FAX〕 0224-55-1115

〔URL〕 <https://www.ja-miyagisennan.jp>
